

2023. 9. 23

No.015

最初から悪者と決めつけ？

責任追及の聞き取りは許さない！ 職場から怒りの声が続出！！

支部情報13・14号でお伝えした通り、宇都宮線でモニター故障により速度計が正しく表示されない事象が発生しました。

職場では、

- ・「会社は〇〇さんを疑ってかかっている」
- ・「正規の取り扱いをしたのだから逆に称えられべき」
- ・「車両故障なのに運転士が何かミスをしていないか 何度もチェックして日勤に降ろし悪者にしている」

との声が出ています。また、

- ・「これでは列車を止めなくなる」
- ・「少しの事なら隠す」
- ・「意思が強くなければ報告出来ない」

と言った悲痛な声も出ており、安全風土が崩壊しています。

私達は事故・事象調査の為に乗務を降ろすことは否定しません。しかし、それは事故・事象の「原因究明と再発事故防止」のためです。

まず社員を疑い、責任を社員に押し付ける事は鉄道の安全風土を破壊するものであり、即刻やめるべきです。

会社は今回の事象の原因を明らかにするべきだ！

**職場に安心感がなければ安全風土は作れない！
会社は安全風土を破壊している事を自覚せよ！！**